

体験交流館ニュース

成人講座 料理教室を開催しています

今年の料理教室は「アジア各国の家庭料理に挑戦しよう」をテーマに、1月15日からスタートしました。

1回目は中華料理で、町内在住の宋美珍先生を講師に招き、水餃子・焼き小籠包・エビチリ・海鮮スープ・杏仁フルーツの5品に挑戦しました。

水餃子と小籠包の生地は、小麦粉から作る手作り。「こんなに簡単に生地が作れるとは思わなかった」「小籠包は蒸すものと思っていたが、焼いた方が簡単でおいしい」などと驚きの声が上がりました。ほかにエビチリのエビは、卵白と片栗粉をよくもみ込み、色が変わる程度にサッと揚げるとプリプリの食感が出るなど、プロの技を教えてくださいました。講師の宋先生は、烏龍茶で有名な中国の福建省の出身。旦那さんとともに町内の中華料理店に勤務、猪苗代に来られて15年になるそうです。

今回のメニューのレシピは、携帯サイトでご覧になれます。右のQRコードを携帯電話で読み込んでください。今後はインド料理・韓国料理・日本料理と続きますが、講座が終わり次第、携帯サイトを更新していきたいと思ひます。



QRコード

利用者が協力して大掃除

昨年の12月26日(土)、生涯学習課の職員と体験交流館の皆さんが協力して、

年末の大掃除を実施しました。

利用者みんなで協力して、より良い施設にしていきたいと思ひます。皆さんのご協力をお願いします。



ボランティアスタッフ研修会

体験交流館で開催される行事のボランティアスタッフ育成研修会を開催します。今回は舞台関係・音響関係の研修となります。皆さんも私たちと一緒に舞台を創ってみませんか？

興味がある人は、体験交流館まで電話で申し込んでください。

■舞台関係 22年2月24日(水)・25日(木) 18:30～21:00

■音響関係 22年3月11日(木)・12日(金) 18:00～21:00

※2日間の研修となりますので、各研修とも2日連続で参加できる人が対象となります。 問い合わせ先 ☎(72)0180



ふるさと歴史館ニュース

図書コーナーに「就活コーナー」を開設

深刻な状況が続いている就職問題。そこで、少しでも就職活動をしている人の役に立てばと、ふるさと歴史館の図書コーナーに「就活コーナー」を設置して関連図書を用意しました。

【新刊】

○就活こんなときどうする辞典

○30分でわかる!!失業再就職マニュアル

○ミセスのためのハッピーリワーク完全パイブル
ほか

丘灯至夫先生を偲んで 沼尻軽便鉄道写真展



かつて川桁一沼尻間を運行していた沼尻軽便鉄道をモデルにして作られた歌、「高原列車は行く」の作詞者である丘灯至夫先生が、昨年暮れに逝去されました。

「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」では、先生のご功績をしのぶとともに猪苗代が舞台となった素晴らしい歌をこの世に残してくれたことへの感謝の意味を込めて「沼尻軽便鉄道写真展」を開催しています。

会場はふるさと歴史館で、2月28日までの開催となっています。各駅の写真などのほか、「高原列車は行く」を発表した当時の新聞記事、駅員の制服や切符など沼尻軽便鉄道に関するものが多数展示されています。沼尻軽便鉄道を懐かしく思う人も、鉄道が通っていた事すら知らない若い世代の人も、ぜひ一度ご覧ください。※午前9時～午後5時までの開館となります。

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■体験交流協会視察「保科正之公ゆかりの高遠町を訪ねる」参加者募集

会津藩祖保科正之公生誕400年祭とNHK大河ドラマ化運動の一環として、正之公が幼少期・青年期を過ごした信州高遠町を訪れ、知識と交流を深める旅を企画しました。

どなたでも参加できますが、定員(30人)になり次第締め切りとします。

○実施日：22年3月25日(木)～26日(金)

○費用：16,000円程度

○視察先：長野県伊那市高遠町

○宿泊：伊那高原保養センター

はびる温泉 羽広荘 ☎0265(78)6155

○行程：

3月25日(木)

猪苗代町役場出発(6:00)～(磐越道・北陸道・上信越道)～伊那IC～高遠町(12:30)・昼食～高遠町研修～宿舎「羽広荘」

【研修内容】

伊那市観光協会訪問・交流、高遠町歴史博物館、保科正之公・お静の方ゆかりの史跡めぐり

3月26日(金)

宿舎「羽広荘」～名所・史跡観光(木曾街道の奈良井宿)～塩尻IC(上信越道・北陸道・磐越道)～猪苗代町役場(19:00)

○主催：町体験交流協会

○共催：町教育委員会・猪苗代の偉人を考える会

○申し込み先：町体験交流館 ☎(72)0180

○申し込み期間：2月15日から25日まで(先着順)

○問い合わせ先：猪苗代の偉人を考える会

江花俊和 ☎090(2798)8346

参考：高遠町 高遠城は、正之公(幼名幸松丸)が7歳で高遠藩主保科正光の養子になってから、藩主を終える26歳まで過ごした場所。居城は現在、高遠城址公園となり、1,500本のコヒガンザクラ樹林が長野県天然記念物に指定されている。

町内には保科家の菩提寺や正之公の頌徳碑、お静の方の供養塔などのゆかりの史跡が多い。

昭和48年、正之公と土津神社の縁で、高遠町からコヒガンザクラが贈られ、土津神社境内に植樹された。翌年、猪苗代町から高遠町に磐梯アカマツを贈り、交流がスタート。

平成16年、高遠町と猪苗代町が親善交流書を締結。「名君保科正之公の大河ドラマをつくる会」結成、署名活動が始める。

18年、高遠町が伊那市と合併。

21年、保科正之公像並びにお静地藏建立などで、町あげでの取り組みを実施しながら現在に至る。

■クリスマスコンサート in INAWASHIRO

「窓ぎわ文庫」主催のクリスマスコンサートは12月20日(日)、体験交流館大研修室で開催されました。本町出身の字月東さんと津金久子さんが歌を、大坪由里さんがピアノを担当し、「日本の歌」と「クリスマスの歌」の2部構成で演奏を披露、会場を訪れた約250人の観客を素晴らしい歌声で魅了しました。

このコンサートは毎年クリスマスの時期に開催予定ですので、皆さんお楽しみに・・・



猪苗代歴史探訪

猪苗代の三大偉人

郷土の偉人として挙げられる連歌師猪苗代兼載、会津藩松平家初代藩主保科正之、医聖野口英世の三人は、中世・近世・現代の各時代に登場し、文学・政治・医学と異なる分野で活躍した。彼らに共通しているのは、幼いころの不遇に耐え、己に課した厳しい忍耐と努力で学問を究め、その仁愛をもって多くの人々に救済と感銘を与えるなど、世の中に貢献したことである。しかし、彼らが輝かしい業績を残した背景には、多くの隣人の支えがあった。兼載は心敬と宗祇に引き立てられ、中央で活躍して北野連歌会所奉行の宗匠となった。正之は見性院や保科正光のもとで育ち、將軍家光の信頼を得るまでに成長し、会津藩主となった。英世はその才を見出してくれた恩師小林栄や血脇守之助ら友人たちの援助によって、世界的な医学者となった。人間は己の才や努力のみではなく、隣人などの支えがあつて初めて大成する。人と人との繋がりが重要であるというのはいつの時代も変わらない。



会津藩祖 保科正之公